

新潟青陵学会
第15回学術集会



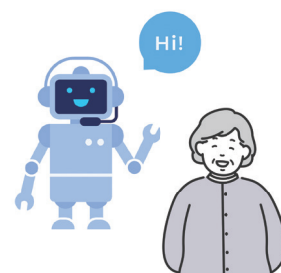
医療保健・福祉介護 の近未来と 人生最期の10年



2023 **11/11** 土
10:00~16:00

■会場 新潟青陵大学
■主催 新潟青陵学会

第15回学術集会長
中平 浩人
新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授



医療保健・福祉介護 の近未来と 人生最期の10年

我が国では人口減少時代がすでに始まり、さらに人生100年時代の到来や疾病構造の変化により、今後、国・地域の医療福祉は大きな影響を受けると予測されています。一方で、近未来は、技術革新とデジタル・トランスフォーメーションの潮流とによる第4次産業革命或いはSociety5.0 時代とも呼ばれ、大きく世の中のあり様が変わっていきます。それらはpostコロナ時代に加速し、これまで以上に社会の変動は早かつ複雑化し、不確実さと曖昧さを増していくいわゆるVUCA(変動性(Volatility)、不確実性(Uncertainty)、複雑性(Complexity)及び曖昧性(Ambiguity))時代に入ります。

このような時代、地域の医療保健と福祉介護は、地域医療体制、かかりつけ医制度・外来医療機能、介護・在宅医療提供体制などの変革により、大きく姿を変えていくことになります。最新のデータに基づく医療保健と福祉介護の近未来像を、この分野で実際に活動している会員の皆さまと、近未来に同じ分野の専門職として働く学生とともに、localかつdomesticな視点で考えます。

また、変わりゆく医療福祉の環境下で、平均寿命と健康寿命の差である「人生最期の10年間」をどう生き(逝き)られるかが、一人の人間として重要になります。各種改革が進められる中、想定以上に早く人口が減少し世帯・疾病構造も変化し、加えて人生100年時代が一足先に到来する新潟県で、どのような看取り体制下で「人生最期の10年間」を迎えられるのか、その当事者とそれを見守る側の両方の立場で考えてみたいと思います。

スケジュール

9:30～10:00	●受付(6号館1階)
10:00～10:10	●開会のあいさつ 学 会 長：木村 哲夫 新潟青陵大学 学長
10:10～12:00	●基調講演Ⅰ 「医療保健・福祉介護の近未来」(仮) 講 師：松本 晴樹 新潟県福祉保健部長(厚生労働省医系技官) 〈司 会〉中平 浩人 新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授
12:00～12:25	●総 会 学会員の方のみが対象となります。非学会員の方の出席はご遠慮ください。
13:00～14:00	●口頭発表
移 動 ・ 休 憩	
14:10～16:00	●基調講演Ⅱ 「変わりゆく日本・新潟県の医療福祉における“人生最期の10年”」(仮) 講 師：小柳 亮 医療法人社団 小柳真柄医院 理事長 新潟県医師会理事(日本医師会未来医師会ビジョン委員長) 〈司 会〉中平 浩人 新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授
16:00	●閉 会

I. プログラム



1. 基調講演 I

テーマ

「医療保健・福祉介護の近未来」(仮)

講師：松本 晴樹 新潟県福祉保健部長(厚生労働省医系技官)

2006年千葉大学卒。宮城県石巻赤十字病院、湘南鎌倉総合病院救急総合診療科にて研修。2009年厚生労働省入省。母子保健、診療報酬などの担当を経て、2016年よりハーバード公衆衛生大学院/医療政策専攻に留学。帰国後、2018年より厚生労働省 医政局 地域医療計画課にて、COVID-19対策にも従事し、2020年より新潟県福祉保健部長。地域医療政策のスペシャリスト。

新潟県福祉保健部長として、「新型コロナウイルスの人口10万人あたりの死亡者数」を全国で最も少なく維持し、3年間に渡って続いた新型コロナウイルスへの対応を“成功”に導かれた。また、新潟県内の医師不足や地域偏在を解消し、安定的な地域医療の確保を図ることに尽力され成果を挙げられている。

2. 基調講演 II



テーマ

「変わりゆく日本・新潟県の医療福祉における“人生最期の10年”」(仮)

講師：小柳 亮 医療法人社団 小柳真柄医院 理事長・新潟県医師会理事(日本医師会未来医師会ビジョン委員長)

東京女子医科大学大学院修了。1998年厚生省(現厚生労働省)入省。2001年東京女子医科大学日本心臓血管研究所循環器内科入局。2014年医療法人 小柳真柄医院理事長。2020年まで新潟市医師会在宅医療・在宅ネット運営協議会委員。2020年より新潟県医師会理事。2022年より日本医師会未来医師会ビジョン委員会委員長・日本医師会医療政策会議かかりつけ医WG委員。

元厚生労働省医系技官および新潟県の開業する現役医師の両方の立場から「地域医療」に精通し、「地域医療」を実践されている。さらに、最近では日本医師会において将来の医療を議論する役割を担われている。

II. □ 頭 発 表 の 申 し 込 み ・ 抄 録 作 成 ・ 発 表

1 申し込み方法

- □頭発表での発表をご希望の方は、新潟青陵学会ホームページの申込受付ボタンからお申し込みください。
申込期限：2023年8月8日(火)17:00

2 発表者の資格・選考

1) 資 格

- 共同研究の場合は、会員が必ず1名以上含まれることを要件とします。
- 単独での発表を希望される非会員の方は、事前にご入会いただく必要があります。
新潟青陵学会ホームページから入会申込書をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、
電子メールで学会事務局(E-mail: gakkaijimu@n-seiryu.ac.jp)にお送りください。
1週間以内に受領メールが届かない場合は、学術集会事務局にご連絡ください。

2) 選 考

- □頭発表申込の採否は、8月中旬頃にメールにて連絡します。

3 抄録原稿の作成・提出方法

- 採択結果通知後、抄録原稿を作成し、抄録原稿作成チェックリストと共に電子メールに添付して、
学術集会事務局(E-mail: conf2023@n-seiryu.ac.jp)までお送りください。
- 抄録原稿書式・抄録原稿作成チェックリストは新潟青陵学会ホームページからダウンロードできます。
提出期限：2023年9月8日(金)17:00《必着》

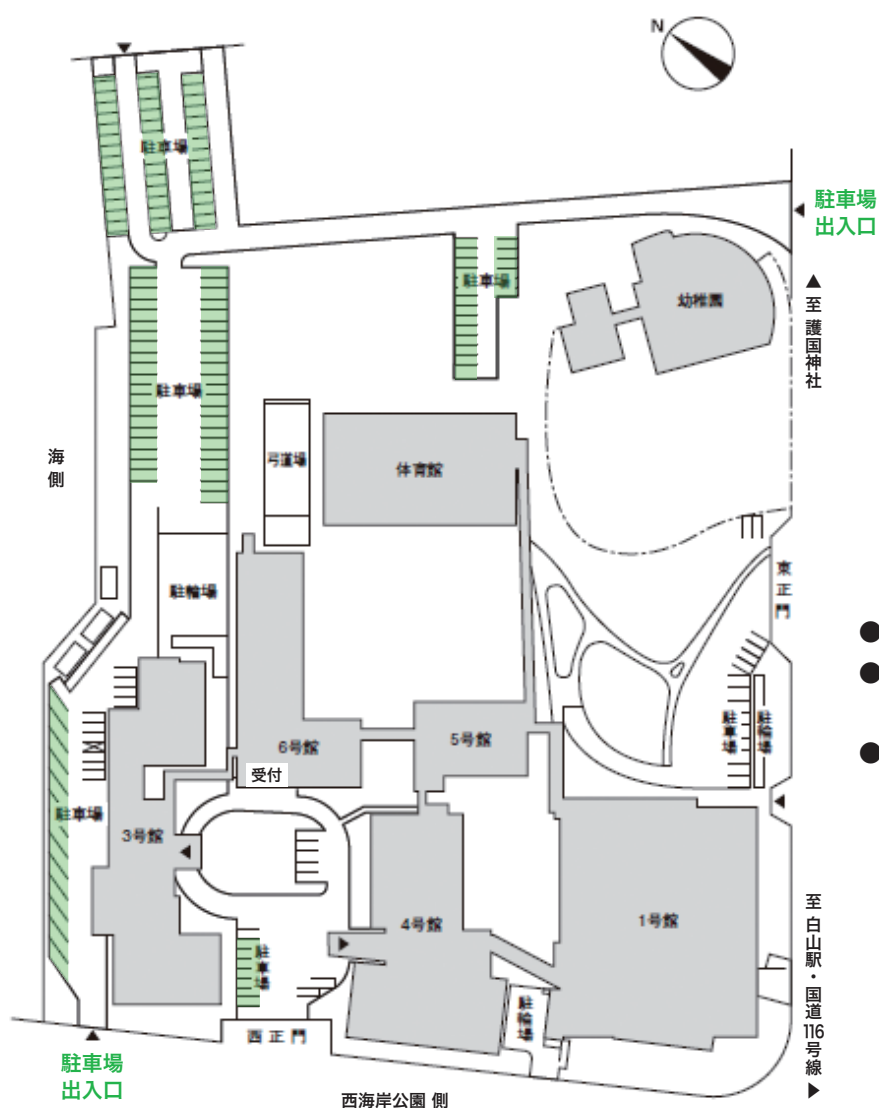
4 個人情報の利用

- □頭発表申込サイトにて記入された氏名・所属は、新潟青陵学会第15回学術集会抄録集に掲載されます。
ご了承ください。

5 当日の発表

- 発表は、司会の進行により行います。1演題あたり15分程度(質疑含む)です。
※詳細については、採択通知と一緒にご連絡いたします。

III. 会 場 案 内



- 昼食が必要な方はご持参ください。
- 当日は着色された箇所の駐車場をいずれもお使いいただけます。
- 会場周辺には公共施設等の駐車場がございますが、本来の利用者の方の妨げになります。本学術集会にご参加の方のご利用はご遠慮ください。

IV. 参加申し込み・参加費

1) 参加申し込み

事前申し込みは不要です。当日、直接6号館1階受付においでください。

2) 参加費

学 会 員 新潟青陵大学学生・大学院生	非 学 会 員	
無 料	一 般 1,000円	学生・大学院生 500円

※非学会員の方は当日受付にて参加費をお支払いください。
 注) 新潟青陵大学卒業生は別途入会者を除き、非学会員となります。

memo

This image shows a full page of a handwriting practice worksheet. It consists of multiple rows of horizontal dashed lines spaced evenly down the page, providing a guide for letter height and placement. The background is plain white, and there are no other markings or text present.

memo

[illegible]

交通アクセス



■JRをご利用の方 JR越後線(白山駅)下車 徒歩15分

■バスをご利用の方 ※新潟駅前万代口バスターミナル(7番のりば)から
 C20(浜浦町線 西部営業所ゆき) バス停 松波町1丁目下車 徒歩4分
 C21(浜浦町線 信濃町ゆき) バス停 松波町1丁目下車 徒歩4分
 C22(浜浦町線 水族館前ゆき) バス停 新潟青陵大学前下車 徒歩1分

お問い合わせ先

新潟青陵学会 第15回学術集会事務局

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地
 TEL:025-266-0127(代表) FAX:025-267-0053(代表)
 E-mail:conf2023@n-seiryō.ac.jp
 ホームページ:https://www.n-seiryō.ac.jp/gakkai/
 電話受付時間:8:30~17:00(土日祝日・休業日は除く)



新潟青陵学会HP